

文月 ひふみのあゆみ

ひふみ投信 7月度 ご報告書

2009年8月7日号

レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号

加入協会: 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会



RHEOS CAPITAL WORKS

文月 (7月)

文月の由来は、七夕に短冊に歌や字を書き、書道の上達を祈ったことに因み「文披(ふみひらき)月」が転じたといわれています。IT技術の進化で、PCや携帯でメールを打つことが多くなり、「文字」を書くことが少なくなりました。文月の七夕の文化「願いを書く」ということをいつまでも大切にしていきたいですね。



運用責任者から皆さまへのメッセージならびに、2009年7月の運用状況などをご報告いたします。

■7月のひふみ投信の運用環境・今後の見通し

<ひふみは 7月も「守りながらふやす」運用を継続>

7月の株式市場は上昇しましたが、月前半には「悲観」に振れ月後半には「楽観」が復活するなど、市場の内側では将来の見方が分かれてきました。

3月以降、「悲観」から「超楽観」に振れた世界株式市場の上昇は、そろそろ息切れしてきたようで、逆に「楽観」から「悲観」へと戻り始めました。さて、生活での実感がないなか、様々な市場がここまで上昇してきたのは、またもや「過剰流動性」だと考えています。昨年のリーマン・ショック以降、世界各国の中央銀行がなりふり構わずおカネを供給したので、「過剰流動性」が復活したのです。そしてその時に買う理由は「景気回復」、それも絶対的な水準よりも前年比や前月比での「回復」です。ところが景気回復の理由は、ショックを受けてあまりに悲観的になって縮小しすぎた調整の反動と、それを受けたコスト削減、そして世界中にあふれるカンフル剤です。ただ、こうした急激な反動やカンフル剤は長続きしないし、コスト削減をするほど雇用や消費は悪くなるので、もう一段のコスト削減…という悪循環に陥りがちですね。そして、ショック直後の教訓を忘れた懲りない「過剰流動性」は、「現実」に目覚めるにつれて、本来の経済規模に合わせた規模に縮小すると考えています。

ひふみでは、世界が根本的な解決にいたるまでには、「超楽観」が「現実」に引き戻される局面が来ると考えています。そのような環境では、保有銘柄をより厳しく精査し続け、厳しい状況でも逆に成長し株価の上昇が見込める会社を見極め、しっかりと保有し続けることにより、お預かりしている資産を「守りながらふやせる」と考えています。しばらくは悩ましい状況が続くかとは思いますが、是非、暖かいご支援と理解をいただき、皆さまの資産形成のお手伝いのできれば幸いです。

(ひふみ投信 運用責任者 立田博司)



- ・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。
- ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ひふみ投信の特色について

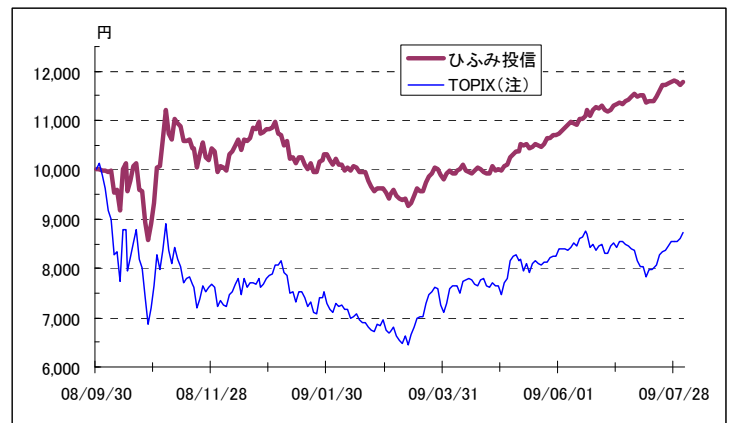
ひふみ投信は、お客さまの長期的な資産形成に貢献するために、円貨での信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内・外の上場株式に投資することにより、積極運用を行ないます。

■基準価額について（「ひふみ投信」の値段のことです）

◆基準価額の推移

基準価額	
2009年7月31日時点	
1万口当り 11,778円	

基準価額のおゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1か月	3.60%	2.20%
過去3か月	16.96%	13.42%
過去6か月	14.04%	19.68%
設定来	17.78%（※1）	-12.61%（※2）



（注）TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。

※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2009年7月31日までににおける数値です。

※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2009年7月31日までににおける数値です。

★TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。
TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。
日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

■「ひふみ投信」の資産内容について（2009年7月31日時点）

皆さまからお預かりした大切なご資金で、どのように運用を行なっているのかをご報告いたします。

□ 資産の内訳

純資産総額	3.49 億円
うち 株式	51.04 %
うち 預金その他	48.96 %



国別の割合	
日本株式	100 %
海外株式	0 %

受益権総口数（※）	296,976,181 口
-----------	---------------

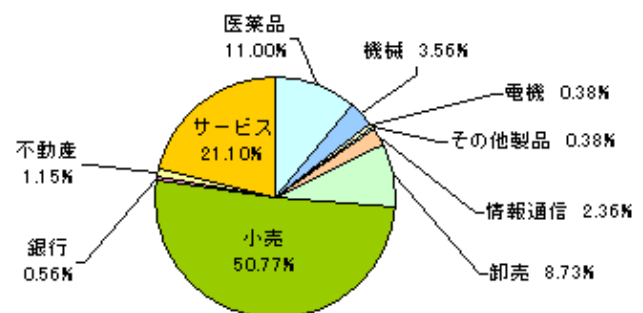
（※・・・「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です）

□ 組入比率の高い銘柄（組入銘柄数:29銘柄）

	銘柄名	業種	比率
1	ニトリ	小売	4.75%
2	ファーストリテイリング	小売	4.57%
3	タビオ	卸売	4.43%
4	総合メディカル	サービス	4.26%
5	アスクル	小売	4.04%
6	ワタミ	小売	3.47%
7	スタジオアリス	サービス	3.25%
8	ヤマダ電機	小売	3.20%
9	ゼンショー	小売	2.92%
10	ツムラ	医薬品	2.71%

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

■ 組入銘柄の業種比率



（注）業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。 (国内の金融商品取引所の売買立会が午前立会のみの場合の半休日は11時まで)
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時(半日営業日は11時)までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆ お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。
なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター

電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時)

メール： cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。
・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。